

令和4年度

事業報告

常総市社会福祉協議会

令和4年度 事業報告

今、私たちが暮らす地域では、少子高齢化や核家族化、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の増加、また地域で支えあう力の低下などにより、福祉や生活に係る課題が多様化、複雑化してきています。加えて、新型コロナウイルス感染症の長期化や物価高騰による生活費の圧迫など、日々の生活に大きな影響をもたらしました。

このような状況の中、本会では地域活動の再開に向けた支援、新たな生活困窮者への支援など、これまでと異なる課題も含め、地域課題や生活課題の解決に向けた業務に取り組んできました。また社協活動を知ってもらい、社協を身近に感じていただき、福祉のまちづくりを地域の皆さんといっしょに進めていくためのガイドブックを作成しました。

指定管理施設においては、利用者や来館者への体温チェックやマスク着用などの感染対策と消毒、換気など感染防止措置を講じ、安全・安心に利用できる施設運営に努めてきました。

今後も、第4次地域福祉活動計画に基づき、またコロナ禍の中で生活困窮に陥った方々へのフォローアップ支援や住民それぞれが支えあいや助けあい、そしてつながりづくりの強化を図り、本会が持つ幅広いネットワークを活かし、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりの実現に向けた取り組みを進めていきます。

令和4年度は、次のとおり事業を実施いたしました。

基本目標 1 支えあい・助けあいの地域づくり

～住民がともに「支えあい」「助けあう」地域づくりを推進します。～

○地域の支えあい・助けあいの関係が、さらに深まるよう住民主体の福祉活動を推進します。

社協支部活動支援

(1) 支部活動支援

社協支部（27支部）が住民主体の福祉活動に取り組めるように、新型コロナウイルス感染症の予防対策をとりながら、役員会や総会などの会議、高齢者への祝賀訪問や住民同士の交流会、各種スポーツ活動、講演会などの活動について支援を行った。

感染症対策グッズの配布

「令和3年度の支部活動に関する調査」で地域福祉活動に使用する感染症対策グッズの配布を望む意見が複数寄せられたため、各支部に希望を取り、非接触型体温計、消毒液、マスク等を配布した。

(2) 支部運営助成金の交付

支部活動の充実強化を図るため支部運営助成金を交付した。

27支部 2, 117, 700円

社協支部推進体制強化

(1) 支部長会議 令和4年5月20日

コロナ禍における各支部の活動等について支部長を対象にアンケートを実施し、その結果報告及び、各種助成事業の説明、社協会員会費の協力依頼を行った。

(2) 支部情報交換会 令和4年10月3日～5日

各支部の取り組みや課題などについての情報交換会を新型コロナウイルス感染症対策のため水海道Aブロック・水海道Bブロック・石下ブロックの3ブロックに分けて実施した。

開催ブロック	対象支部	開催日	開催会場
水海道 Aブロック	旧水海道町内	令和4年10月3日	ふれあい館会議室
水海道 Bブロック	菅原・大花羽・三妻 五箇・大生・坂手 内守谷・菅生	令和4年10月4日	ふれあい館会議室
石下ブロック	石下・豊田・玉 岡田・飯沼	令和4年10月5日	石下総合福祉センター 大会議室

地域福祉座談会

地域課題や福祉活動について、地域住民が気軽に話し合える機会をつくるための座談会の実施を予定していたが、常総市役所市民と共に考える課が「地域のこれからについて（意見交換会）」を開催しており、参加対象者及び内容が類似しているため、同意見交換会への協力のため中止した。

常総社協ガイドブック「これでわかる！社協」の発行

「令和3年度の支部活動に関する調査」で社協の事業について知りたいという意見が多く寄せられたため、社協ガイドブックを作成し、支部長や社協役員、民生委員児童委員などに配布した。

○住民参加により、地域の福祉課題解決のための取り組みを推進します。

在宅福祉サービスせいむ

(1) 事業概要

家事や身の回りのお世話、子育てのお手伝いなど、日常で「こんな援助があれば助かる（利用会員）」と「誰かのお役に立ちたい（協力会員）」を結ぶ、会員制のたすけあい活動を実施した。

会員数	協力会員	25人	うち新規登録会員	6人
	利用会員	111人		
利用回数		643回		
利用時間数		856.5時間		

(2) 協力会員養成

社協ホームページやフェイスブックで新規協力会員を募集し、登録説明会開催を計画したが、登録希望者との日程が合わなかったため個別に対応し、新規協力会員の獲得に務めた。

お食事会

地域ボランティアの協力で70歳以上のひとり暮らしの方などを対象にした食事会を11地区12会場で毎月1回開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防のため開催を中止し、短時間のお茶飲み会の開催または、ボランティアによる参加者宅の訪問活動を実施した。

【訪問活動】

実施地区	6地区
訪問件数	336件
協力ボランティア数	260人

【お茶飲み会】

実施地区	7地区
実施回数	27回
延べ参加人数	347人

実施状況一覧

地 区	ボランティア 団体	訪問活動		お茶飲み会		
		延べ件数	ボランティア 延べ人数	会場	回数	延べ人数 (利用者)
水海道	ボナペティ ひまわり	—	—	—	—	—
豊 岡	なごみ	—	—	豊岡公民館	5回	55人
菅原・大花羽	かな	56件	48人	—	—	—
三 妻	みつま	—	—	—	—	—
大生・五箇	さくら会	—	—	大生公民館	2回	18人
坂 手	やまゆり	30件	32人	坂手公民館	1回	12人
内守谷	陽だまり	76件	48人	—	—	—
菅 生	しらとり会	—	—	菅生公民館	11回	148人
石 下	コスモス	68件	64人	石下文化センター	2回	26人
玉	まんまる玉	64件	64人	玉文化センター	1回	8人
岡 田	つくし	42件	4人	篠山農村集落センター	5回	80人
計		336件	260人		27回	347人

ふれあい・いきいきサロン活動支援事業

地域の中の生きがいつくり、仲間づくり、健康づくり、元気づくり活動を推進するために、立ち上げや運営に必要な資金の一部を助成し、地域の交流の場づくりを実施した。

助成団体 21団体※新型コロナウイルス感染症予防のため、2団体が活動を中止。

	延べ開催数	延べ参加人数	平均参加人数 (1回あたり)
上半期合計	95回	1,145人	12人
下半期合計	88回	1,246人	14人
総 計	183回	2,391人	13人

ほほえみネットワーク事業

見守りが必要な方とその方を支える住民同士のつながりづくりを支援するため、ネットワーク表を作成し、管理・更新を行った。新型コロナウイルス感染症の影響から、外出や人と話す機会の減少が目立ったため、訪問するほかに電話での状況確認も実施した。

利用件数 35件

生活支援体制整備事業

石下中学校区と石下西中学校区に生活支援コーディネーターを配置し、高齢者宅への訪問や電話などで生活や介護などの困りごとを伺い、解決に向けた支援を行った。

また、社協支部や市、関係各所と情報交換・連携し、いざという時のためのネットワークづくりを行った。

高齢者世帯訪問数		石下中学校区	石下西中学校区	合計
世帯区分	ひとり暮らし世帯	140件	214件	354件
	高齢者のみ世帯	13件	11件	24件
	高齢者とその他世帯	19件	17件	36件
合計		172件	242件	414件

食糧等支援事業

「常総福ふくセット」の配布

新型コロナウイルス感染症の拡大や物価の高騰により経済的な負担が増えている緊急食糧提供事業利用者や歳末たすけあい見舞金受給者に食糧品などを提供し、日常生活の困りごとの把握に努めた。

配布数	99世帯
食糧等の提供	個人2名 企業1社
仕分けボランティア	4名

高齢者生きがい支援事業

(1) ペタンク・輪投げ大会

参加者数146名（ペタンク77名、輪投げ69名）

(2) 第27回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会

参加者数14名（グラウンドゴルフ5名、ペタンク4名、輪投げ5名）

(3) 高齢者新春芸能大会

常総市シルバークラブ連絡協議会と共催し、カラオケや舞踊などの芸能発表を行う。※新型コロナウイルス感染症予防のため中止

(4) 高齢者訪問

高齢者（88歳到達者309名）宅を訪問し、記念品を贈り長寿をお祝いした。また、100歳到達者19名、最高齢者3名を訪問し、祝い金を贈呈した。

(5) レクリエーション用具貸出

貸出用具 輪投げ、グラウンドゴルフ、ペタンク、オーバルボール等
貸出回数 43回

○福祉情報を収集し、分かりやすい情報発信を行います。

福祉情報広報啓発事業

(1) 広報紙「ふくしJOSO」発行

地域の福祉情報や社協からのお知らせなどを掲載した広報紙を作成し、市内全世帯に配布した。年4回発行（6月、9月、12月、3月）

(2) ホームページ・SNS運営

ホームページとフェイスブックを運営し、最新の情報発信に努めた。
(フェイスブック投稿92件)

声の広報発行事業

ボランティアの協力により市広報及び市お知らせ版を音訳し、利用を希望する視覚障がい者に録音したCD等を送付した。また、チラシを作成して市・社協へ設置し、利用者の普及促進に努めた。

利用者数	11名
発行物（発行回数）	市広報・市お知らせ版（24回） ふくしJOSO（2回）
発行数	273枚
協力ボランティア数	7名

○自分のまちを、自分たちで支える活動を充実させていきます。

社協会員会費募集事業

(1) 一般会員会費 全世帯加入を目標に会員募集を行った。

加入数 14,596世帯
(特別会員数2,716世帯、普通会员数11,880世帯)
会費金額 8,557,350円

(2) 法人特別会員会費

加入数 63社
会費金額 580,000円

赤い羽根共同募金運動への協力

茨城県共同募金会常総市共同募金委員会事務局として、赤い羽根募金、歳末たすけあい募金運動を実施した。

令和4年度共同募金総額 11,462,453円

運営委員会

- 第1回 令和4年9月27日 運営委員の選任、副会長の選任
令和3年度事業報告、決算報告
- 第2回 令和5年3月24日 令和5年度事業計画、収入支出予算

基本目標 2 想いを尊重した生活支援

～一人ひとりの困りごとを受け止め、自分らしい生活を支援します。～

○住民一人ひとりが抱える様々な困りごとを受け止める相談体制を整備し、関係機関等と連携し課題解決に向けて取り組みを行います。

心配ごと相談事業

(1) 心配ごと相談 随時職員が対応

(2) 法律相談 弁護士による相談を実施
毎月第4火曜日 午後1時～午後4時
相談件数 50件

高齢者総合相談窓口

・高齢者を対象に生活面での困りごとなどの相談に応じた。

相談件数 39件

○多様な生活課題を抱える住民に対し、福祉サービス・制度の利用を通じて、その人の将来を見据えた自立した生活を支援します。

日常生活自立支援事業

(1) 事業概要

認知症高齢者や知的または精神に障がいのある方など、判断能力が不十分で、かつ親族などの援助が得られない方に対して、福祉サービスの利用手続きの援助や日常生活の金銭管理援助及び書類等の預かりサービスなどを行い、在宅での日常生活を支援した。

生活支援員 9人

相談件数 4,463件

令和4年度新規契約件数 6件

令和5年3月末の契約件数 49件

(2) 研修等

- ・成年後見制度担当者研修会 令和4年7月6日
- ・日常生活自立支援事業新任専門員研修会 令和4年7月22日
- ・日常生活自立支援事業情報交換会 令和4年10月24日
- ・市町村長申立て実務に関する研修 令和4年10月26日
- ・現任生活支援員研修 令和5年1月16日

- ・日常生活自立支援事業専門員会議 令和5年1月16日
- ・家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会 令和5年1月20日
- ・持続可能な権利擁護支援モデル事業 プレ研修 令和5年2月1日
- ・高次脳機能障害についての研修 令和5年2月22日

貸付事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯、障がい者のいる世帯、日常生活上介護を必要とする高齢者のいる世帯の生活向上のため貸付を行った。

貸付承認件数	1件
貸付金額	202,000円
償還金額	893,221円
累計（令和5年3月31日現在）	
貸付中件数	30件
貸付残高	11,331,713円

(2) 緊急小口資金等の特例貸付制度

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で一時的な生活資金にお困りの方に向けた緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付を実施した。

貸付承認件数	90件
貸付金額	23,370,000円
累計（令和5年3月31日現在）	
貸付承認件数	1,896件
貸付金額	532,640,000円

(3) 小口貸付事業

低所得者を対象に短期無利子の貸付（限度額5万円）を行った。

貸付件数	8件
貸付金額	320,000円
償還金額	385,000円
累計（令和5年3月31日現在）	
貸付中件数	3件
貸付残高	150,000円

緊急食糧等提供事業

(1) 事業概要

緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった世帯へ食料等の生活に必要な現物を提供することにより、世帯の自立を促し、社会の一員として円滑な社会生活を送

れるよう支援した。

支援件数 108件（主な提供物資…缶詰、米、レトルト食品等）

※物資の提供団体

- ・株式会社カスミ
- ・JA常総ひかり石下支店
- ・株式会社セブン-イレブン・ジャパン
- ・NPO法人フードバンク茨城
- ・茨城県社会福祉協議会

家計改善支援事業

常総市の生活困窮者自立相談支援事業と連携しながら、家計状況の課題を把握し、相談者が自ら家計を管理できるように聞き取りを行い、状況に応じた支援計画の作成や相談支援を行った。また、必要に応じて関係機関と連携し、各種貸付制度の案内を行うなど早期の生活再生を支援した。

新規相談件数 102件 ※うち申込件数 5件

継続相談件数 431件

相談取扱件数 533件

予約型乗合交通「ふれあい号」

- (1) 運行開始日 平成21年10月26日
- (2) 運行区域 市内全域（車両5台で運行）
- (3) 利用対象者 常総市内に居住する方
- (4) 運行時間 午前8時から午後5時（1時間毎に運行）
- (5) 利用料 1人1回250円（利用券使用）
- (6) 予約センター オペレーター5人が2交代制（午前、午後）で受付、配車
- (7) 利用状況

運行日数 241日

新規登録者数 206人

累計登録者数 9,048人

利用人数 13,746人 ※うち60歳以上12,622人

1日平均利用人数 57人

歳末援護事業

歳末たすけあい見舞金の支給

市民からの善意の募金を、民生児童委員を通じて見舞金として支給した。

見舞金支給件数 130世帯

支給合計額 1,550,000円

福祉機器の貸出

車いすを一時的に必要としている方へ無料で貸し出し、外出や介護のサポートを行った。貸出件数 90件

○地域で暮らす障がいのある方に対して、施設サービスの提供と包括的な相談支援を行うことで、地域生活の継続を支援していきます。

常総市心身障害者福祉センター管理運営

障がいのある方に軽作業を通じ生産活動の機会を提供し、就労に必要な知識・能力の向上を図った。

開設日 243日 利用登録人数 26名（3月31日現在）

(1) 就労継続支援B型事業

工賃の取組み

- ・ 部品の不要ゴムはがし(バリ取り)、部品の袋詰めや箱折り、ハンガーの組み立て、カーテンレール部品組み立て、防災ラジオの箱折りや部材入れ。
- ・ リサイクル(空き缶、ペットボトル、古紙等)回収。
- ・ 自主製品として「EMぼかし」「手芸品」の販売や野菜の生産販売。
- ・ オリジナルマグカップ、オリジナル缶バッチの製作販売。

平均工賃(1人月額) 11,268円

就労への取組み

- ・ 一般企業と連携し施設外就労を行ない、利用者の就労への意欲を高めた。

生産活動・社会参加活動支援

- ・ 新型コロナウイルス感染状況に応じ、歳時に応じた創作活動や館外学習、クリスマス会を行った。

リハビリテーション

- ・ 理学療法士によるリハビリテーションを必要な利用者に行った。

(単位：回・人)

種 別	実施回数	延利用人数
作業訓練	243	5,224
生活活動・社会参加活動支援	20	440
機能回復訓練(リハビリテーション)	11	42
給食サービス		5,007

(2) 広報、PR活動

- ・ふくし祭りに参加し、事業所紹介や作品を展示するなどのほか、「ふくしJOSO」での事業所紹介を行った。

(3) 関係団体の育成

障がい者団体の活動支援（事務局）を新型コロナウイルス感染状況に応じ、実施した。

- ・身体障がい者福祉協議会（総会、役員会、研修交流会）
- ・手をつなぐ育成会（総会（書面開催）、役員会）
- ・聴覚障害者の会（総会（書面開催））

(4) その他

利用者が作業しやすい環境整備

- ・作業用品等整備事業を利用し、治具の作成材料や台車、作業用手袋などを購入した。
- ・室内照明をLEDに交換した。

常総市児童デイサービスセンター管理運営

発達に心配のある子が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応できるよう心身の状態や環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行った。

特別支援学校及び特別支援学級に通う中高校生などを対象に放課後や長期休暇時に就労支援事業所への実習体験等を行った。ほか各機関との連携を強化し、利用者に対し統一的な支援を行った。

また、新型コロナウイルス感染症対策では検温、消毒の実施、マスク着用、衝立、空気清浄機の設置をした。感染症関係で来所が難しい方には代替サービスの提供を行い継続して療育を行えるよう支援した。

(1) 児童発達支援・放課後等デイサービス

開設日 243日

① 利用者の登録状況 (単位：人)

	人数
未就学児(0歳～6歳)	84
就学児(7歳～18歳)	39
合計	123

② 提供サービス別利用状況 (単位：回、人)

療育 プログラム名	合計	
	実施回数	利用人数
個別指導	895	895
言語指導	126	575
ポーター 集団指導	午前グループ	46
	午後グループ	23
理学療法	11	50
作業療法	20	91
ポーター発達相談	19	60
年長児小集団	58	300
年中長児小集団	26	94
宿題サポート(長期休暇含)	38	128
実習体験	1	2
代替サービス	187	187
合計	1,450	2,763

③ 月別実績人数 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
173	176	213	209	252	246	243	243	254	244	247	263	2,763

(2) 連携事業

保健センター、教育委員会、保育所、幼稚園、小中学校、特別支援学校、医療機関など各関係機関と連携を図った。

(単位：回)

連携先(内容)	回数
保育所、幼稚園、学校(訪問、見学会)	22
教育委員会(就学説明会、就学面談)	18

その他

- ・教育補助員研修
- ・教育委員会教育支援委員会
- ・保健センター発達相談
- ・基幹相談支援センター主催常総市事業所連絡会

- ・保護者交流会及び情報交換ノート設置
- ・保護者勉強会
- ・保健センター5歳児健康診断補助

障がい者相談支援センター運営

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、「特定相談支援事業」「障害児相談支援事業」の指定事業所として、障がいを持つ人々の相談に応じ、サービス等利用計画・障害児支援利用計画の作成及び情報提供やサービスの調整を行った。令和4年度は、人員減になったため、認定調査の委託は受けなかった。

○利用契約数 令和5年3月31日現在

特定相談支援 54人（うち令和4年度新規6名）

障害児相談支援 113人（うち令和4年度新規10名）

(1) 基本的な相談支援（契約者以外の相談）

面接相談 0件

電話相談 34件

一般相談は特定の人からの相談が半数を占める

(2) サービス等利用計画・障害児支援利用計画の月別作成数

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特定相談支援	4	8	4	3	3	7	5	7	3	2	3	5	54
障害児相談支援	7	13	8	8	8	8	10	13	11	14	10	13	123

※途中で計画が変更になる場合は1人に対して複数回作成する。

(3) モニタリング(利用計画が適切かどうかの見直し)の月別作成

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特定相談支援	10	4	7	5	6	9	7	7	3	2	7	5	72
障害児相談支援	23	10	18	15	10	12	15	9	12	13	15	12	164

※請求できるモニタリングのみ、計画前のモニタリングは含まず。

(4) その他

- ・計画相談支援事業所連絡協議会 2回
- ・事例検討会 4回
- ・虐待に関する訪問・会議 1回（市役所こども課と連携）
- ・相談支援従事者現任研修受講 3名
- ・各種研修会受講 6回

基幹相談支援センター運営

市内在住の障がいをお持ちの方が、住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、本人・家族・サービス事業所の方等からの相談対応や情報提供などの支援を行った。

(1) 総合的・専門的な相談支援の実施、困難事例の対応

(単位：件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25	25	29	55	43	45	41	45	38	29	21	41	437

(2) 相談支援体制の取り組み

- ・相談支援専門員の資質向上のための研修会の開催
相談支援事業所連絡協議会 2回
事例検討会 4回
- ・福祉サービス事業所連絡会の開催 1回
「障害虐待防止研修会」
- ・福祉サービス事業所への訪問 23事業所
- ・特別支援学校との連携 3校（伊奈、結城、下妻）
- ・相談支援従事者、初任者研修実習受け入れ 2名

(3) ひきこもり相談・啓発

- ・茨城県ひきこもり相談支援センターとの連携
「ひきこもり研修会」開催
- ・ひきこもり相談の件数 50件

(4) 地域移行・地域定着の取り組み

- ・保健所、精神科病院との連携
(つくば保健所、水海道厚生病院、とよさと病院、ホスピタル坂東)

(5) 権利擁護・虐待の防止

- ・常総市虐待防止センターとの連携
- ・緊急時対応電話事業（時間外対応） 現在登録利用者なし

○子どもたちの心と体を育む活動を地域ぐるみで推進していきます。

三坂児童館管理運営

地域の児童や親子に対し、新型コロナウイルス感染防止対策（利用人数の制限、三密回避、消毒）をとりながら、小集団での遊び、運動遊び、制作活動を通して、児童の健全育成を図った。令和4年度は、コロナ感染症の臨時休館はなく、1年を通して活動することができた為、利用者が令和3年度より、549人増加した。引き続き集団での活動や地域交流の場では感染対策をとりながら行った。

開設日数 243日 延利用人数 3,409人

(1) 児童健全育成

- ・小学生対象工作教室、お楽しみ会、料理教室を開催
- ・児童の居場所づくり月替わりプログラムを実施（毎月クラフト、なんでも選手権）
- ・児童の居場所づくりのためコミックライブラリーを設置

(2) 子育て支援

- ・子育てサロン
幼児クラブ（毎週火曜日）
ニコニコ広場（毎月第1、第3、水、金曜日）
- ・リサイクル☆くるブース（子供服・用品リサイクル事業）
- ・おもちゃの広場（毎週火、木、金曜日）

(3) 地域交流

- ・高齢者サロン
いどばたサロン（毎月第2、第4金曜日）
感染症対策のため休会していたシルバーリハビリ体操教室会員の中の活動再開希望者で11月に活動開始
- ・手作りおもちゃの会「ぬい*ぬい」（毎月第1・第3木曜日）
- ・地域のボランティアへ協力を呼びかけ（読み聞かせ、行事等講師）
- ・どんぐりマーケットを開催（11月～12月、どんぐり工場は8月～12月）
- ・どんぐりマーケットの商品制作ボランティア「どんぐり工房」（毎月第2、第4木曜日）

(4) その他

- ・相談業務
子育てに関する相談 相談件数65件、
定例相談日開設（毎月第2水曜日）
- ・機関紙「スマイル通信」発行 月1回程度
- ・エコ活動（エコ工作教室、ペットボトルキャップ回収）

水海道児童センター管理運営

地域の児童や親子に対し、新型コロナウイルス感染防止対策（利用人数の制限、三密回避、消毒）をとりながら、小集団での遊び、運動遊び、制作活動を通して、児童の健全育成を図った。令和4年度は、コロナ感染症の臨時休館はなく、1年を通して活動することができた為、利用者が令和3年度より、1,937人増加した。引き続き集団での活動や地域交流の場では感染対策をとりながら行った。

開設日数 243日 延利用人数 7,161人

(1) 児童健全育成

- ・小学生対象行事 工作、運動遊び、子供ボランティア(児童公園清掃)を開催

(2) 子育て支援

- ・おもちゃの広場(毎週月～金、第2・4土曜日)

延べ利用者数：大人1,615人、幼児1,856人

- ・子育てサロン

幼児教室アイアイ

ぴ～ちっち

ぴ～ちサロン

- ・いいもの★み～つけ(子供服・用品リサイクル事業)

(毎週月・水・金、第2・4土曜日) 延べ利用者数 1,037人

(3) 地域交流

- ・シルバーリハビリ体操(月1回)

- ・地域のボランティアへ協力を呼び掛け

(読み聞かせ、リサイクル品仕分け、行事手伝いなど)

- ・リサイクルボランティア洋服仕分け隊6月発足(6名) 年間18回活動

(4) その他

- ・相談業務

子育てに関する相談 相談件数87件

定例相談日開設(毎月第4木曜日)

- ・機関紙「いちにのさあ～ん」発行 年6回

- ・こども版発行 年8回

- ・熱中症予防及び感染症対策として、体育館に扇風機設置

- ・リサイクル室の照明不良修繕(LED照明への交換)

基本目標3 地域活動のつながりづくり

～地域に根ざした活動を応援し、つながりの輪を広げます。～

○ボランティア活動者・団体が楽しくやりがいをもって活動できるように、活動や運営の支援を行います。

ボランティア・市民活動支援

(1) ボランティア相談、紹介、登録

相談件数 10件

登録数 52団体、個人7人

(2) 情報発信

ホームページで登録団体、イベント、お知らせなど最新情報を提供
センター日より「DO-MO」発行（偶数月10日発行）

(3) その他の支援

ボランティア室貸出 638回

ボランティア活動に対する保険加入案内

保険加入者 901人

行事用保険加入件数 21件

各種助成金情報の案内

赤い羽根地域づくり応援助成事業

市民が自主的に行う高齢者介護予防、生きがいづくり、障がい者支援、防災など地域福祉活動を応援するため、助成事業を実施した。

審査委員会の開催 3回（7月15日、12月13日、3月16日）

助成交付団体 35団体

助成金額 2,073,000円

※新型コロナウイルス感染症流行の影響により、活動を中止または縮小した団体は助成金を返還。

常総ボランティア連絡協議会事務局

常総ボランティア連絡協議会支援

登録ボランティアのネットワークづくり、自主運営の支援を行った。

登録数 26団体

会員数 527人

情報発信 会報「たんぽぽ」発行（1回）

常総市シルバークラブ連絡協議会事務局

(1) 常総市シルバークラブ連絡協議会の育成

高齢者の中核組織であるシルバークラブ活動の充実強化に努めた。

登録数 36クラブ

(2) 委員会活動の育成、援助

寿学級運営委員会、健康推進委員会

(3) 趣味・教養活動の推進

(単位：人)

講座・教室名	開催日	開催場所	参加人数
講演会「秋のつどい」	10月19日	地域交流センター	76人
わくわく美術展 (作品受付窓口として対応)	2月25日～3月2日	県民文化センター	7人

○地域の福祉活動に興味を持つきっかけとなるような福祉教育を行うとともに、地域を支える福祉人材の育成を推進します。

ボランティア講座

講座名	開催日	開催場所	参加者数
要約筆記入門講座	1月24日～2月21日 (全5回)	社協水海道事務所	延25名
音訳ボランティアフ ローアップ講座	2月27日	社協水海道事務所	8名
VR認知症体験会	2月1日	石下総合福祉センター	40名
福祉出前講座	3月1日	大生小学校(5年生)	20名

○ボランティア活動者・団体、福祉施設などの交流・協力・連携を進めることで、地域福祉活動のつながりの輪を広げていきます。

ボランティア市民活動団体交流事業

(1) ふくし祭り

福祉施設、ボランティア団体などと協働し、市民に向けた福祉啓発イベント「ふくし祭り」を開催しました。

開催日 令和4年11月13日
開催場所 石下総合福祉センター
参加団体 12団体

(2) ボランティア・市民活動団体支援

市内各種団体などと交流事業、連携・協働事業を行った。(単位：人)

事業名	連携・協働団体	実施日又は期間	参加人数
お食事会（お茶飲み会）	ボランティアサークル9団体	通年	延260
声の広報発行	音訳ボランティア	通年(26回)	7

災害発生時における協力体制に関する協定の締結

令和4年7月27日、災害発生時に備え、常総青年会議所と災害発生時における協力体制に関する協定を締結した。

理事会・評議員会等の開催

(1) 理事会

- 第1回 開催日 令和4年5月26日開催
報告事項 寄付金受領報告、顕彰該当者報告、会長職務執行状況報告
協議事項 令和3年度事業報告、令和3年度一般会計決算、常総市心身障害者福祉センター及び常総市児童デイサービスセンター勤務職員の手当等に関する規程の一部改正、評議員選任・解任委員会委員の選任、評議員選任・解任委員会の招集、評議員の推薦、評議員会の開催
- 第2回 開催日 令和4年12月16日開催
報告事項 会長職務執行状況報告
協議事項 本会の給与等に関する規程の一部改正、本会の臨時職員就業規則の一部改正、本会の育児休業、介護休業等に関する規程の一部改正、常総市心身障害者福祉センター及び常総市児童デイサービスセンター勤務職員の手当等に関する規程の一部改正、障害者総合支援法に基づく指定特定相談支援事業所及び児童福祉法に基づく指定障害児相談支援事業所「常総市社会福祉協議会障がい者相談支援センター」運営規定の一部改正、本会車両運行管理規程の制定、評議員選任・解任委員会の招集、評議員の推薦
- 第3回 開催日 令和5年3月6日開催
報告事項 評議員選任・解任委員会報告
協議事項 役員等賠償責任保険契約の締結、令和4年度一般会計収入支出補正予算、令和5年度事業計画、令和5年度一般会計収入支出予算、評議員会の開催

(2) 評議員会

- 第1回 開催日 令和4年6月21日
報告事項 顕彰該当者報告、寄付金受領報告、評議員選任・解任委員会報告
協議事項 令和3年度事業報告、令和3年度一般会計決算
- 第2回 開催日 令和5年3月24日
報告事項 評議員選任・解任委員会報告
協議事項 令和4年度一般会計収入支出補正予算、令和5年度事業計画、令和5年度一般会計収入支出予算

(3) 評議員選任・解任委員会

- 第1回 開催日 令和4年6月6日
協議事項 委員会趣旨説明、評議員選任

第2回 開催日 令和4年12月22日
協議事項 委員会趣旨説明、評議員選任

(4) 正副会長会議

第1回 開催日 令和4年9月29日
協議事項 社協の現状と検討事項の共有

第2回 開催日 令和5年2月6日
協議事項 社協の現状と検討事項の共有

(5) 監事会

第1回 開催日 令和4年5月18日
協議事項 令和3年度一般会計監査
令和3年度茨城県共同募金会常総市共同募金会委員会会計監査

第2回 開催日 令和4年11月15日
協議事項 令和4年度一般会計（4月～9月）監査